

第2 事業活動結果

1 公益目的事業

(1) 公園施設等運営事業

指定管理の主要業務である公園、施設などの管理及び運営については、以下のとおり事業に取り組みました。

ア 公園、施設などの管理及び運営

利用者の安心安全を第一に、35年間蓄積してきたノウハウを生かし、年間を通して点検、除草、樹木の剪定、施設や設備の修繕、ごみ回収などを進めました。

公園に設置された遊具や健康器具については、専門業者により点検を行い、簡易な修繕については事業団で実施いたしました。

イ 緑化の推進

(ア) グリーンカーテン

市民体育館において、ロビーの窓にゴーヤでグリーンカーテンを作り、緑化の推進とともに省エネに努めました。

(イ) 花壇の整備等環境緑化の推進

市民体育館正面玄関の花壇を整備し、来園者に楽しんでいただけるよう花を植え環境緑化の推進に努めました。

(ウ) 寄せ植え教室等

緑化を推進する活動として、季節の花を使った寄せ植え教室やフラワーアレンジメント教室を開催し37人参加いただきました。

(2) スポーツ振興等事業

スポーツによる市民の健康づくりを支援し、継続して活動していただけるよう、以下のとおり事業に取り組みました。

ア 講習会の開催

八幡市では、ウォーキングの日を設けるなど、市民の健康づくりに役立つウォーキングを奨励しております。また、やわたスマートウェルネスシティ事業を実施していることから、当事業団としても、その事業の一環として市民が健康づくりに役立てていただけるよう、3月に市民スポーツ公園でウォーキング教室を開催し19人参加いただきました。

イ スポーツを楽しむ日の開催

市民体育館で10月に、卓球、バドミントン、バレーボールなどを自由に楽しんでいただく「スポーツを楽しむ日」を開催。八幡市健康推進課の体組成測定会、八幡市スポーツ推進委員会のニュースポーツ体験、京都SKYのおもちゃの病院に御協力いただき149人参加していただきました。

また、初めての試みとしてキッチンカーを誘致し参加いただいた方にとどまら

ず、市民スポーツ公園に御来園いただいた皆様にも好評いただきました。

ウ 高齢者を対象とした教室の開催

(ア) シニアスポーツクラブ

柔軟な体づくり、筋力の向上、運動の習慣づけなどに役立つシニアスポーツクラブを前年度に引き続き週2日開催しました。令和4年度の実施回数は94回（前年度は64回）、参加者数は延べ2,081人（前年度1,344人）でした。

(イ) 男性トレーニング&女性シェイプアップ

男性は筋力の向上を目的に、女性はシェイプアップを目的にトレーニングルームでマシンを使用する教室を前年度に引き続き開催しました。令和4年度の実施回数は48回（前年度は32回）、参加者数は延べ1,212人（前年度796人）でした。

(ウ) プラチナビクス

足腰への不安や負担をかけたくない方向けに、椅子を使う有酸素運動、太ももやふくらはぎの筋力トレーニング、口腔機能の向上トレーニングを前年度に引き続き開催しました。令和4年度の実施回数は35回（前年度は29回）、参加者数は延べ290人（前年度190人）でした。

エ 幼児、小学生等を対象とした事業の開催

(ア) キッズ&ジュニアサッカー

前年度に引き続き男山レクリエーションセンターのフットサルコートで実施。令和4年度の実施回数は42回（前年度は29回）、参加者数は延べ519人（前年度330人）でした。

(イ) 移動ふれあい動物園

市民スポーツ公園で11月に八幡市が開催する事業に合わせて、移動動物園を開催しました。たくさんの子ども達にミニチュアホース、ウサギ、モルモットに触れ合っていたなど好評いただきました。

(ウ) 移動プラネタリウム・科学体験イベント

施設の特性を活かした事業として、市民体育館アリーナでエアードーム式のプラネタリウムと機材を設置し星空を観測する移動プラネタリウム及び科学体験のイベントを初めて実施しました。新型コロナウイルス感染対策により人数などの制限の中でしたが84人参加いただき好評いただきました。

オ 各種大会への協力

八幡市、八幡市スポーツ協会、当事業団などで構成する実行委員会が主催した市民マラソン大会など積極的に参加、協力しました。

カ 情報提供

当事業団のホームページを活用し、各種事業や教室の案内などを掲載した。また、スポーツ・健康運動教室を案内する事業団だよりを年2回（9月、3月）市

内全戸に配布し情報提供に努めました。

2 収益目的事業

利用料は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、約5,600万円となり、施設利用の制限を緩和したことにより前年度（約4,182万円）に比べて34パーセント、約1,418万円の増となりました。

有料公園の延べ利用者数は約30万4千人で、前年度（約21万人）に比べて44.7パーセント、約9万4千人の増となりました。

収益目的事業においても、市民の健康、体力づくりに寄与するため、引き続き次のとおり事業に取り組みました。

(1) スポーツ振興事業

ア スポーツ教室の開催（自主事業）

市民体育館及び男山レクリエーションセンターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの開催となりましたが、それぞれ年齢、体力、技術レベルなどに応じた多様なスポーツ教室を開催いたしました。

令和4年度の全教室開催回数は977回、延べ参加者数は約13,500人（前年度は約7,400人）でした。

イ トレーニングルームの運営

令和4年度のトレーニングルーム利用者数は約3,300人（前年度は約1,800人）で、利用人数の制限や予約制にするなどの新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、引き続き御利用いただきました。

(2) 施設の貸与

施設については、これまでどおり、八幡市が主催、関与し又は八幡市が委託、補助するなどの公益性の高いスポーツ、健康、学校行事などを優先利用としました。

(3) 自動販売機の設置、スポーツ用具などの貸与

来園者などへの利便を図るため、これまでどおり飲料水などの自動販売機の設置や、スポーツ用具など貸し出しを行い、令和4年度は併せて約300万円（前年度は約200万円）の収入を得ました。

3 新型コロナウイルス感染防止対策の取り組み

有料施設において、令和3年度に引き続き、利用後の施設や備品類の消毒を徹底するなど利用者の御理解と御協力を得ながら感染防止対策に努めました。